

慢性副鼻腔炎に対して診療を受けたことのある  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

**本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。**

【研究課題名】

ステロイド薬の用量や投与方法が好酸球性副鼻腔炎の確定診断に及ぼす影響についての検討

【研究の目的】

好酸球性副鼻腔炎は両側に多発する鼻茸と粘稠性鼻汁により高度の鼻閉と嗅覚障害をきたす難治性の疾患で、指定難病の一つです。確定診断は JESREC score（診断基準と重症度分類のスコアリング）と組織生検にて行われますが、組織生検において検査前に使用しているステロイド内服薬やステロイド吸入薬、鼻噴霧用ステロイド使用が組織中の好酸球数を低下させてしまい、診断に苦慮する場合も少なくないのが現状です。

本研究は慢性副鼻腔炎で組織生検を実施した患者さんのカルテを調査して、検査前に使用していたステロイド薬が好酸球性副鼻腔炎の診断に与える影響について検討します。

【対象となる方】

2021年1月から2026年3月の間に組織生検を施行された方

【使用する診療情報】

診療記録を用いて「年齢、性別、基礎疾患、喫煙歴の有無、検査結果（血液検査、画像検査、病理結果）、生検前に使用していたステロイド薬」についてデータを収集します。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会からの承認後、病院長の許可日（2024年6月18日）から2027年3月31日まで実施され、約100名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などに変更されたのち解析を行います。また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

**【結果の公表】**

この研究の研究成果は日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

**【研究責任者】**

獨協医科大学埼玉医療センター 耳鼻咽喉頭頸部外科 教授 田中康広

**【問い合わせ先】**

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 担当者：田中星有（専攻医）

電話番号：048-965-8681（医局直通） 平日 9:00-17:00

以上